

iOS 端末を用いた店舗マップ作成支援アプリの開発

Development of the Making Support Application
for Shop Maps Using iOS Devices

D - 3

片岡 湧

伊與田 光宏

Waku KATAOKA

Mitsuhiro IYODA

千葉工業大学情報工学科

Department of Computer Science, Chiba Institute of Technology

1.はじめに

本学の大学祭では、大学祭実行委員会が作成した運営マニュアルや店舗マップなどを作成・閲覧しつつ大学祭の運営に当たっている。その中でも店舗マップを作成するには、参加する団体との交渉をはじめ、会議や書類を作成する上で多くの手間がかかる。そこで本学の大学祭あるいは祭りにおいて、iOS 端末において店舗マップの作成にかかる工程を削減できるようなアプリの開発に着手した。

2.概要

本研究では祭り行事における参加団体の出店位置の振り分けと、その行事における店舗マップの編集の2つの機能による運営の効率化をコンセプトとするアプリを開発した。それによって店舗マップの作成や、会議や書類作成の手の削減など参加団体と運営とのやりとりの工程を削減し、祭り行事における運営の効率化を目的とする。

3.動作フロー

開発したアプリの主要な機能の処理の流れを図 1 に示す。

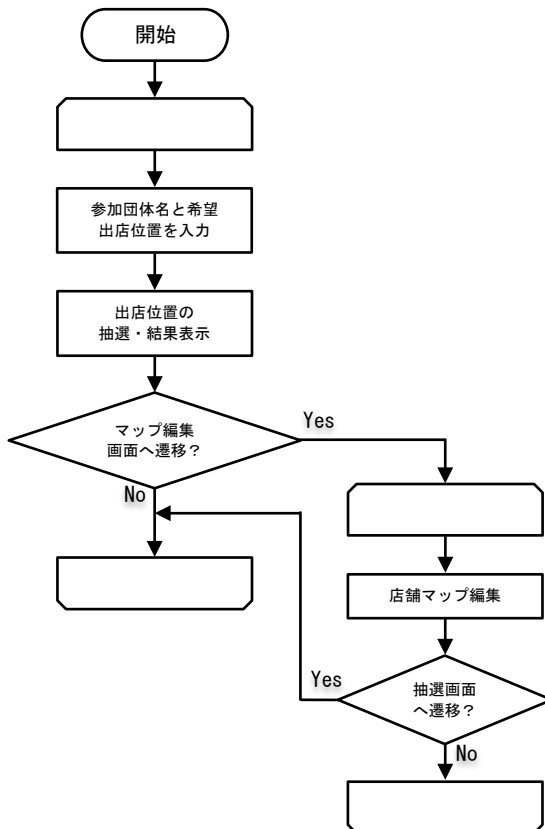


図 1. 処理の流れ

4.アプリの機能

本研究の目的を果たすため、開発したアプリには次の機能を実装した。

- ・参加団体の出店希望場所を保存する機能
- ・参加団体の出店場所を抽選する機能
- ・店舗マップの編集機能
- ・編集中の店舗マップへのメモ機能
- ・店舗マップの読み込み機能
- ・店舗マップの保存機能

5.アプリの検証結果

開発したアプリを本学の大学祭実行委員 15 名に使用させ、実際に仮想の団体情報による抽選をとマップの作成を行った後、アンケートを実施した。アンケートによる評価は 5 を最高、1 を最低とした 5 段階評価で行った。アンケート結果を以下に示す。

表 1. アンケート結果

No.	評価項目	評価(平均)
1	抽選画面の見やすさ	4.3
2	抽選結果画面の見やすさ	2.7
3	マップの作りやすさ	2.8
4	マップ編集機能の充実度	2.3
5	コンセプトに対する評価	4.0
6	総合的なアプリの利便性	3.3

評価の結果、「総合的なアプリの利便性」が 3.3 だったことより本アプリの目的は概ね達成できた。この評価値は抽選機能においては評価が良かったが、マップ編集においてプロジェクト分けによる複数のマップ編集機能が無いことや消しゴムのように線を消す機能が無いなど「マップ編集機能の充実度」が 2.3 という低評価だったからだと考えられる。よってマップ編集機能を充実させることでアプリの利便性もより向上すると思われる。

6.おわりに

本研究では開発した iOS アプリを用いて、店舗マップの作成や店舗位置の抽選の機能を使って祭り行事における運営の効率化を目指した。本学の大学祭実行委員会からはマップ編集時の機能性には欠けるが、一部の会議を減らす、書類を作成せずに済むという意見も得られた。そういった点で祭り行事の運営の効率化が期待できるといえる。